

一斉検診は十月以降

環境庁 答弁 “隠れ水俣病”で援助

大石環境庁長官は二十六日の参院公害対策特別委で、“隠れ水俣病”についての内田善利委員（公明）の質問に対し、「住民の一斉

検診ができるだけ早く広い範囲で行なわれることを希望し、環境庁としてもできるだけだけの援助をする」と答えた。また般後同庁企画調整局長も「熊本県費で熊大が一部検診を実施中だが、それ以外の水俣湾沿岸住民の検診についても

いま県でどのような範囲、基準で実施するか検討している。これには環境庁としても財政的補助を考

えたい。その実施時期は十月以降と見込んでいる」と述べた。

内田委員は、水俣市月の浦の池田弥平さん（六）ら六人が、「水俣病」の認定申請を熊本県知事が長期間放置しているのは違法だ」として同庁に出している行政不服審査請求についても、同庁の態度をた

だした。
(東京支社)

だした。これに対し同局長は「環境庁と

してはいま熊本県からの非明書な